



福井大学 (福井県)



充実した個別指導と学生のニーズに即したカリキュラム

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

1) 概要

福井大学は、教育学部、医学部、工学部、国際地域学部の4学部、及び大学院福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科、大学院医学系研究科、大学院工学研究科、大学院国際地域マネジメント研究科の4研究科からなる。



【文京キャンパス】

2) 教員・学生数 (2021年5月時点)

学生数 (正規生) :	学部生	3,984名
	大学院生	944名
教員数 :		633名

② 国際交流の実績

留学生在籍数 : 140名 (19カ国・地域)
学術交流協定数 : 96 (大学間)、63 (部局間)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生 (日研生) の受入れ実績

2021年 : 留学生数140人、日研生1人
2020年 : 留学生数174人、日研生2人
2019年 : 留学生数228人、日研生2人

④ 地域の特徴

福井市は、日本のほぼ中央に位置し、美しい自然と豊かな文化遺産に恵まれたところである。日本海に面し、古くは大陸諸国と都を結ぶ玄関口として重要な位置を占め、その長い歴史と伝統、そして四季折々の変化に富んだ美しい自然は、日本の典型的な風情を漂わせている。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

b) 主に日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

- ・主に日本語教育科目を履修し、日本語能力を向上させ、日本文化について理解を深める。
- ・本学の他の留学生や日本人学生と一緒に共通教育科目及び専門科目を履修し、単位の修得を目指す。
- ・授業科目 : 日本語・日本文化研修留学生のための特別な授業科目はない。
- ・履修科目については、成績証明書を発行する。
- ・修了要件を満たした場合、修了証書を発行する。

③ 受入定員

4名 (大使館推薦3名、大学推薦1名)

④ 受講希望者の資格、条件等

- このコースを受講希望するには、以下の条件を満たすことが望ましい。
- ・日本語能力検定試験N2以上。
 - ・日本語・日本文化・教育などに関心があり、関心のある分野での研究学習歴があること。

⑤ 達成目標

コース修了時には、日本語能力検定試験N1程度の能力を有することを目指す。

⑥ 研修期間 (在籍期間)

2022年10月1日 ~ 2023年9月30日
修了式は9月中旬予定

⑦ 奨学金支給期間

2022年10月 ~ 2023年9月

⑧ 研修・年間スケジュール

- | | | |
|-------|---------------|--|
| 9月中旬 | 渡日 | |
| 9月下旬 | オリエンテーション | |
| 10月1日 | 後期 (秋学期) 授業開始 | スキー旅行 |
| 1月 | 留学生との交歓会 | |
| 1~2月 | 留学生向けスキー旅行 | |
| 4月上旬 | 前期 (春学期) 授業開始 | |
| 5月中旬 | 学園祭 | |
| 8月 | サマーキャンプ | |
| 9月下旬 | 帰国 | その他、各種学生イベントを実施している。また、地方自治体や民間団体主催の見学会・交流活動等も随時実施されている。 |



スキー旅行



高須町での稲刈り

- ・着付け・茶道体験
- ・能楽体験講座
- ・田植え・稲刈り体験・収穫祭等



能楽体験講座

⑨ コースの修了要件

- ・下記⑩の掲載科目から11科目かつ合計20単位以上を修得すること。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

授業は原則として、前期・後期各15週開講する。
以下の科目から、必ず各学期7科目以上履修すること。
各科目の内容は変更となる場合がある。

2) 研修・コース開設科目

I) ①必修科目・内容

2科目4単位修得すること。(各2単位/30時間)

【応用日本語Ⅰ(上級)(春学期)】

日本語によるインタビュー活動を日本人学生や地域の人を対象に行う。この活動を通じて、話す、聞く、のような日本語能力を伸ばすだけでなく、日本や日本人に対する理解を深めることを目指す。

【応用日本語Ⅱ(上級)(秋学期)】

グループで取材に行き、それを新聞の形にまとめる。その活動を通じて、日本語による情報収集を行う技術を身につけたり、わかりやすい日本語で情報を発信したりする。自分の興味のあることや独自の視点を掘り下げるにより、それらについて理解を深める。さらに、ほかの学生と一つのことについて話し合い、一緒に活動することによって、お互いの見方を知り、コミュニケーション能力を磨く。



「応用日本語Ⅱ」授業風景

I) ②選択必修科目・内容(日本語科目)

日本語プレースメントテストの結果に基づき、日本語レベルに応じて選択すること。以下の科目から、3科目3単位以上修得すること。(各1単位/30時間)

【日本語A(中上級)(春学期)】

内容を整理しながら話したり、相手を意識して伝えることを目指し、様々なテーマ、状況を設定して、話す練習をする。さらに、相手の話を整理しながら聞き、それに適切な応答ができるようになる練習も行う。

【日本語B(中上級)(秋学期)】

依頼、許可など、それぞれの場面で、相手に応じた表現を使って、相手との関係を維持し、目的を達成できるようにする。

【日本語C(中上級)(春学期)】

大学生活で必要なメールやレポートの書き方の基礎を学ぶ。最初の2、3週間で日本語でのメールの書き方を学び、その後、レポートを書くために必要な、客観的な文章の書き方、根拠の示し方、意見の述べ方などを学ぶ。

【日本語D(中上級)(秋学期)】

論理的な文章の書き方やレポート作成に必要な知識や技術を学ぶことを目的とする。具体的な文章例を通して理解を深め、練習や課題を通して書く能力の向上をめざす。

【日本語E(上級)(春学期)】

フォーマルな場面の議論において、正確に自分の考えや意見を表現し、考えと考えの間の関係を明確にしながら、活発な議論に参加できるようになる。その場にふさわしい丁寧さでコミュニケーションができる。

【日本語F(上級)(秋学期)】

講義やゼミなどで自分の意見、主張等をプレゼンテーションソフトを用いながら、わかりやすい日本語で論理的に示すことができるようになるための練習を行う。

【日本語G(上級)(春学期)】

長く複雑な文章を繰り返し読むことにより、その内容を詳細に理解できるようになる。また、補助的な視点、理由、関連する事例を詳細に加えて、特定の視点からの論を展開し、ある程度の長さの文が書けるようになる。

【日本語H(上級)(秋学期)】

日本語の一般書を読んで、その内容をレジュメの形にまとめて、わかりやすく他者に報告する。それをもとに話し合いながら内容についての理解を深め、その上で自分の意見をミニレポートとしてまとめる。学期の最後には総まとめのレポートを執筆する。

I) ③選択必須科目・内容(共通教育科目)

以下の科目から、2科目4単位以上修得すること。
(各2単位/30時間)

【日本事情(春学期/秋学期)】

福井県には東尋坊などの観光名所や越前焼などの名産品がある。この授業ではこうした福井県の文化を取り上げて、日本語による講義と現地での体験学習を通して、福井県の文化についての理解を深める。



明通寺の見学会



「日本事情」体験学習にて
かまぼこ作り

【日本の文化(春学期/秋学期)】

福井市内の博物館や美術館、庭園(養浩館庭園)などの地域の文化施設と連携し、博物館の展示品の見学や庭園の散策などの校外学習を取り入れ、日本語による講義と校外学習の双方から日本の文化について学習する。

【異文化コミュニケーション入門（秋学期）】

【多文化共生の取組と課題（春学期）】

国境を越えて多面的な交流が進むグローバル化時代には、異なる価値観や世界観を互いに理解し、認め合い、互いが協力して諸問題を解決し、仕事を組み立てられる人材が求められる。

【留学生のための日本文学（春学期/秋学期）】

日本語で書かれた現代小説の読解を中心に、小説のテーマやそこから派生するトピックについても学生間で日本語で話し合う。



恐竜博物館見学

I) ④選択必修科目・内容（専門科目）

所属学部の専門科目から各学期2科目選択して修得すること。

II) ①選択科目・内容（共通教育科目・専門科目）

以上の科目に加え、希望によりその他の共通教育科目及び他学部の専門科目の中から適宜履修できる。

3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

上記の科目のうち「日本事情」及び「日本の文化」が該当。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

上記の科目のうち、「異文化コミュニケーション入門」及び「多文化共生の取組と課題」が該当。

⑪ 指導体制

1) 語学センター日本語教育部 プログラム担当

臆吹 覚 (語学センター 准教授)

桑原 陽子 (語学センター 准教授)

佐藤 綾 (語学センター 准教授)

2) サポート体制

・受入教員：留学生一人一人に受入教員をつけ学業面の指導を行う。

・国際課：生活面についてサポートする。

・チューター：日本人学生や先輩留学生が、渡日当初の種々の手続きの助けや、キャンパス内の案内等、身近な相談相手となり留学生をサポートする。

・U-PASS (University Peer Academic Support Service) : 学生チューターによる日本語学習サポートが受けられる。



U-PASSでの指導風景

■ 宿 舎

本プログラムの学生は以下のいずれかの部屋に入居することができる。

○入居期間：1年間

○入寮費：20,000円

○共益費：3,000円/月

(水道光熱費は別途)

(インターネットは別途契約)

【福井大学留学生会館】

・居室A (寄宿料：14,600円/月)

・居室B (寄宿料：17,400円/月)

【牧島ハウス】

・単身室 (寄宿料：11,000円/月)

○宿舎設備・備品：ミニキッチン、ユニットバス、トイレ、机、イス、ベッド、冷蔵庫、本棚、スタンド、エアコン等

○共用設備：洗濯機、乾燥機 (各1回100円)

○宿舎は自分の居室を含め全館禁煙



牧島ハウス



宿舎周辺の生活情報・通学時間

留学生会館からキャンパスまで徒歩7分。牧島ハウスはキャンパス内にある。最寄りの電車駅までは徒歩3分。周辺にはスーパーマーケットやコンビニ、銀行、郵便局などがある。



■ 修了生へのフォローアップ

1) キャリア支援

プログラム修了後に日本企業または日系企業への就職を希望する学生に対し、留学生向け企業説明会やビジネス日本語講座等、様々なイベントを周知している。また、インターンシップを希望する学生には、本学のキャリア支援課を紹介するなど個別に相談に応じている。

2) ネットワーキング

本学では、留学生同窓会をアジアを中心に現在までに17支部を設立し、各国支部と連携している。その活動を推進するために、国際センターネットワーク誌「こころねっと」を発行し、帰国留学生と情報交換を行っている。



ビジネス日本語講座にてお辞儀の練習

■ 問合せ先

<担当部署>

福井大学学務部国際課

住所：〒910-8507

福井県福井市文京3-9-1

TEL：+81-776-27-8406 (直通)

FAX：+81-776-27-9715

Email：gk-iadexchange@m1.u-fukui.ac.jp

<ウェブサイト>

福井大学：<https://www.u-fukui.ac.jp/>

語学センター：<http://www.lc.u-fukui.ac.jp/>

